



## ワーブモードの設定

この章の内容は、次のとおりです。

- [ワーブモードに関する情報, 1 ページ](#)
- [ワーブモードの注意事項および制約事項, 1 ページ](#)
- [ワーブモードのイネーブル化とディセーブル化, 2 ページ](#)
- [ワーブモードのステータスの確認, 3 ページ](#)

## ワーブモードに関する情報

Cisco Nexus 3548 デバイスは、Algorithm Boost Engine（Algo Boost Engine）と呼ばれるハードウェアコンポーネントを使用して、ワーブモードと呼ばれる転送メカニズムをサポートします。ワーブモードでは、転送テーブルを単一のテーブルに統合してアクセスパスを短縮することにより、フレームおよびパケットでより高速な処理がされます。ワーブモードでは、遅延が最大で 20% 短縮されます。Algo Boost Engine の詳細については、[アクティブバッファモニタリングの概要](#)を参照してください。

## ワーブモードの注意事項および制約事項

ワーブモードには次の注意事項と制限事項があります。

- ワーブモードは、通常の転送より最大で 20% 優れたスイッチ遅延を提供します。
- ワーブモードでは、ユニキャストルートテーブルは減少します。ルートテーブルは 24000 から 4000 エントリに減少します。ホストテーブルと MAC テーブルは 64000 から 8000 エントリに減少します（マルチキャストルートテーブルは 8000 エントリのままです）。
- ワーブモードでは、次の機能はサポートされていません。
  - Egress Routed Access Control Lists（RACL）
  - ポートアクセスコントロールリスト（ACL）

- 同等コストの複数パス（ECMP）
- IP リダイレクト

## ワープモードのイネーブル化とディセーブル化

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# <b>hardware profile forwarding-mode warp</b>	デバイスのワープモードをイネーブルにします。ワープ モードをディセーブルにするには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。デフォルトは、ディセーブル化されたワープ モードです。
ステップ 3	switch(config)# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) リブートおよびリスタート時に実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーして、変更を永続的に保存します。
ステップ 4	スイッチをリロードします。	—

次に、デバイスのワープ モードをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configuration terminal
switch(config)# hardware profile forwarding-mode warp
Warning: This command will take effect only after saving the configuration (copy r s)
switch(config)# copy running-config startup-config
switch(config)#
```

次に、デバイスのワープ モードをディセーブルにする例を示します。

```
switch# configuration terminal
switch(config)# no hardware profile forwarding-mode warp
Warning: This command will take effect only after saving the configuration (copy r s)
switch(config)# copy running-config startup-config
```

# ワープモードのステータスの確認

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>show hardware profile forwarding-mode</b>	ワープモードに関する情報と、ホスト、ユニキャスト、マルチキャスト、およびレイヤ 2 の Ternary Content Addressable Memory (TCAM) のサイズを表示します。

次に、ワープモードに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show hardware profile forwarding-mode
=====
forwarding-mode : warp
=====
host      size  = 8192
unicast   size  = 4096
multicast size  = 8192
l2        size  = 8192
switch#
```

